

まほろば塾 400人参加

読売新聞北海道支社発刊60周年を記念した「薬師寺まほろば塾・札幌塾」（法相宗大本山薬師寺、読売新聞社主催）が26日、札幌市中央区で開かれた。

約400人が参加。昨年9月に起きた北海道地震の犠牲者追悼と復興祈願の法要が営まれ、北海道出身のシンガー・ソングライターの半崎美子さんと奈良・薬師寺執事長の加藤朝胤（ちよういん）塾長が対談した。

法要後、加藤塾長は「日本の豊かな自然は我々に喜びをもたらすが、大きな災害も起きる。

自然に対して謙虚にならなければならぬ」とあいさつ。対談では、半崎さんが「被災した人々の暮らしや思いを歌で伝えていきたい」と話し、加藤塾長は「復興には継続と積み重ねが大

切だ」と語った。

半崎さんのミニコンサートもあり、最後に加藤塾長が被災地・北海道厚真（あつま）町の宮坂尚市朗町長に支援金を贈った。（詳報は6月中旬に掲載予定）